

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

偏差値格差が激しくなっている薬学部ですが、薬剤師に必要なのは偏差値ではありません。本当に必要なのはIQ（知能指数）ではなく、むしろEQ（情動指数）ではないでしょうか。

自分の感情を知って現実的な自己を形成し、それを行動指針とする「心的知性」と、周囲の気持ちを感じ取り適切に行動する「対人知性」を合わせた人格的知性とされるEQ。そのEQは、①自己認識力、②自己統制力、③動機付け、④共感能力、⑤社会的スキル——の5つの能力から構成されると心理学者が提唱しています。

それぞれを説明すると、まず①は自分の本当の気持ちを認識して大切にし、自分が納得できる決断を下せる能力です。そして②は情動を抑え、ストレスの元となる感情を抑えることができる能力をいいます。③は目標に向かって前向きに考え、努力を続けることができる能力で、④は他人の気持ちを敏感に感じ取って共感する能力です。最後に⑤は、集団の中で他人と協調・協力できる能力です。

まさに薬剤師に必要な能力といえるでしょう。①と②は処方時に必要な能力で、③は薬剤師としての姿勢、④は服薬指導時に必要な能力、⑤はチーム医療を推進するために必要な能力です。EQを上げるには「EQを高めよう」と強く意識することです。ともにEQの高い薬剤師を目指しましょう。